公　表

第 64 回技能五輪全国大会

「介護」職種　競技課題

課題共通

アセスメントシート

【基本情報】

ふりがな	たかはし　たろう	(男)・女	生年月日	昭和13年１月１日　88歳
利用者名	高橋　太郎			

【主訴・意向】

利用者の主訴・意向	・脳梗塞の再発に気を付けながら、体調や体の動きを良くして、以前のように家族と一緒に外食に行ったり、歌の会に通ったりできるようになりたい。 ・入浴については、家の風呂は狭く、転ぶのが怖いので、できれば施設で入浴したい。
家族の主訴・意向	・【長男の妻】今後は自身の仕事の日数を増やしたいので、日中のトイレなど、できるだけ身の回りの動作を自身でしてもらえると助かる。 ・最近食事に関して途中でやめてしまうことがみられ、食が細くなっているようで不安である。また、むせこみも増えており、改善の支援をしてもらいたい。

【認定情報・日常生活自立度】

要介護度	要介護２	障害高齢者の日常生活自立度	Ａ２	認知症高齢者の日常生活自立度	Ⅱｂ

【現在利用している介護サービス】

介護サービス	・通所介護　・短期入所生活介護　・福祉用具貸与

【健康状態】

既往歴・現病歴	病名			発症時期	
	脳梗塞			令和２年２月	
	高血圧症（服薬中）			発症時期不詳	
身長	171cm	体重	70kg	ＢＭＩ	23.9
麻痺の有無	右上下肢不全麻痺	拘縮の有無	右肩関節	利き手	右
服薬	・降圧剤【夕１回】				

【ＡＤＬ】

起き上がり	・具体的な指示があれば、自身で身体を動かし、起き上がりできる。
立ち上がり	・具体的な指示があれば、左手で手すりなどにつかまって立ち上がる。 ・膝の痛みがあるときなど、状況によって介助が必要なことがある。
座位保持	・背もたれのある椅子で、左手でアームサポートなどにつかまっていれば座位保持できる。 ・その時によって座位姿勢が崩れることがあり、姿勢を直す際は、声かけが必要。
立位保持	・左手で手すりなどにつかまっていれば立位保持できるが、本人が手を離してふらつくことがあるため、見守りと声かけが必要。
移乗	・具体的な指示があれば、左手で車いすのアームサポートなどにつかまり、介護者が患側を保護しながら移乗する。 ・膝が痛いときのベッドから車いすへの移乗は、スライディングボードを使用して行う。
移動	・左手で杖を使用し、見守りと声かけにて歩行される。動き出し・方向転換等でふらつくことがあり、支えがないと転倒の危険がある。 ・膝の痛みがあるときなど、状況によって車いすを使用している。
特記事項	

【衣服の着脱に関する状況】

脱衣	・右上下肢に麻痺があり、右肩関節に痛みが見られるため脱衣・着衣の際に注意が必要。 ・上衣は、ボタンを外すことはできる。 ・ズボン等は、健側のみ、膝まで下ろす動作はできる。
着衣	・上衣は、ボタンを留めることはできる。 ・ズボン等は、健側のみ、膝から引き上げる動作はできる。
特記事項	

【入浴に関する状況】

入浴方法	・日頃は個浴で介助を受けて入浴する。 ・主治医より、血圧が高い場合（収縮期血圧が160mmHgを超える場合）には連絡をするよう指示があり、入浴の可否や入浴の方法の確認が必要。 ・状況により入浴中止やシャワー浴に変更する場合がある。
洗身	・左手の届く箇所は自身で洗うことができる。
特記事項	

【食事に関する状況】

食事摂取	・スプーンやフォークを使って自力摂取が可能であるが、途中で疲れて手が止まることがある。 ・また、えん下機能の低下により、むせ込みがみられる。
食事形態	・主菜は一口大。
口腔ケア	・義歯の着脱やうがいはできる。
特記事項	・禁忌食・食物アレルギーはなし。

【排泄に関する状況】

排尿	・尿意はあるが、トイレに行くまでに時間がかかるため、リハビリパンツを使用。 ・排尿後は自分で拭き上げることは可能。
排便	・便意はあるが、トイレに行くまでに時間がかかるため、リハビリパンツを使用。 ・便失禁はない。 ・排便後は自分で拭き上げることは可能。
特記事項	・排泄が終わったことは介助者に伝えることは可能。

【コミュニケーションにおける理解と表出の状況】

聴力	・やや大きめの声で、はっきりとした口調であれば聞き取ることができる。
視力	・問題なし
他者への意思の伝達	・脳梗塞後遺症のため言葉が出づらく、「はい・いいえ」「手伝って」「大丈夫」「おいしい」「わからない」などの短い返答に限られる。
介護に係る指示の理解	・認知症はあるが、具体的な声かけがあれば理解できる。
特記事項	

課題共通

アセスメントシート

【基本情報】

ふりがな	たかはし　はなこ	男・(女)	生年月日	昭和13年１月１日　88歳
利用者名	高橋　花子			

【主訴・意向】

利用者の主訴・意向	・脳梗塞の再発に気を付けながら、体調や体の動きを良くして、以前のように家族と一緒に外食に行ったり、歌の会に通ったりできるようになりたい。 ・入浴については、家の風呂は狭く、転ぶのが怖いので、できれば施設で入浴したい。
家族の主訴・意向	・【長男の妻】今後は自身の仕事の日数を増やしたいので、日中のトイレなど、できるだけ身の回りの動作を自身でしてもらえると助かる。 ・最近食事に関して途中でやめてしまうことがみられ、食が細くなっているようで不安である。また、むせこみも増えており、改善の支援をしてもらいたい。

【認定情報・日常生活自立度】

要介護度	要介護２	障害高齢者の日常生活自立度	Ａ２	認知症高齢者の日常生活自立度	Ⅱｂ

【現在利用している介護サービス】

介護サービス	・通所介護　　・短期入所生活介護　・福祉用具貸与

【健康状態】

既往歴・現病歴	病名			発症時期	
	脳梗塞			令和２年２月	
	高血圧症（服薬中）			発症時期不詳	
身長	158cm	体重	55kg	ＢＭＩ	22.0
麻痺の有無	右上下肢不全麻痺	拘縮の有無	右肩関節	利き手	右
服薬	・降圧剤【夕１回】				

【ＡＤＬ】

起き上がり	・具体的な指示があれば、自身で身体を動かし、起き上がりできる。
立ち上がり	・具体的な指示があれば、左手で手すりなどにつかまって立ち上がる。 ・膝の痛みがあるときなど、状況によって介助が必要なことがある。
座位保持	・背もたれのある椅子で、左手でアームサポートなどにつかまっていれば座位保持できる。 ・その時によって座位姿勢が崩れることがあり、姿勢を直す際は、声かけが必要。
立位保持	・左手で手すりなどにつかまっていれば立位保持できるが、本人が手を離してふらつくことがあるため、見守りと声かけが必要。
移乗	・具体的な指示があれば、左手で車いすのアームサポートなどにつかまり、介護者が患側を保護しながら移乗する。 ・膝が痛いときのベッドから車いすへの移乗は、スライディングボードを使用して行う。
移動	・左手で杖を使用し、見守りと声かけにて歩行される。動き出し・方向転換等でふらつくことがあり、支えがないと転倒の危険がある。 ・膝の痛みがあるときなど、状況によって車いすを使用している。
特記事項	

【衣服の着脱に関する状況】

脱衣	・右上下肢に麻痺があり、右肩関節に痛みが見られるため脱衣・着衣の際に注意が必要。 ・上衣は、ボタンを外すことはできる。 ・ズボン等は、健側のみ、膝まで下ろす動作はできる。
着衣	・上衣は、ボタンを留めることはできる。 ・ズボン等は、健側のみ、膝から引き上げる動作はできる。
特記事項	

【入浴に関する状況】

入浴方法	・日頃は個浴で介助を受けて入浴する。 ・主治医より、血圧が高い場合（収縮期血圧が160mmHgを超える場合）には連絡をするよう指示があり、入浴の可否や入浴の方法の確認が必要。 ・状況により入浴中止やシャワー浴に変更する場合がある。
洗身	・左手の届く箇所は自身で洗うことができる。
特記事項	

【食事に関する状況】

食事摂取	・スプーンやフォークを使って自力摂取が可能であるが、途中で疲れて手が止まることがある。 ・また、えん下機能の低下により、むせ込みがみられる。
食事形態	・主菜は一口大。
口腔ケア	・義歯の着脱やうがいはできる。
特記事項	・禁忌食・食物アレルギーはなし。

【排泄に関する状況】

排尿	・尿意はあるが、トイレに行くまでに時間がかかるため、リハビリパンツを使用。 ・排尿後は自分で拭き上げることは可能。
排便	・便意はあるが、トイレに行くまでに時間がかかるため、リハビリパンツを使用。 ・便失禁はない。 ・排便後は自分で拭き上げることは可能。
特記事項	・排泄が終わったことは介助者に伝えることは可能。

【コミュニケーションにおける理解と表出の状況】

聴力	・やや大きめの声で、はっきりとした口調であれば聞き取ることができる。
視力	・問題なし
他者への意思の伝達	・脳梗塞後遺症のため言葉が出づらく、「はい・いいえ」「手伝って」「大丈夫」「おいしい」「わからない」などの短い返答に限られる。
介護に係る指示の理解	・認知症はあるが、具体的な声かけがあれば理解できる。
特記事項	

競技課題１：入浴介助

■課題設定

サービス種別	短期入所生活介護
利用者	高橋さん　88 歳　要介護２（詳細は別添のアセスメントシートを参照）
課題の背景	• 競技者は初めて高橋さんのシャワー浴を担当します。 • 高橋さんが当該施設のショートステイを利用するのは３回目です。 • 自宅のお風呂は狭く、入浴が困難な状況であるため、入浴を目的に週２回デイサービスを利用しています。今回ご家族の都合で、ショートステイの利用となりました。 • 今日は、午前中に入浴を行う予定となっています。 • 居室にてバイタルチェックを行ったところ、血圧が高めだったため、医療職に相談し、シャワー浴を行うこととなりました。 • 高橋さんは、別の介護職員による介助で、居室から脱衣室まで移動し、椅子に座って待っているところです。
課題概要	• 高橋さんのシャワー浴の介助を行い、その後、脱衣室の椅子まで移動し、着衣介助を行ってください。

■競技内容

○　競技の準備ができた時点で手を挙げ、運営委員又は競技委員に伝えてください。

（１）脱衣介助
・脱衣介助を行ってください。
（２）移動介助
・浴室のシャワーチェアまで歩行介助を行ってください。
（３）入浴介助（シャワー浴）
・シャワー浴（洗身のみ）を行ってください。 ※　洗髪と洗顔は行いません。 ※　お湯はでませんが、出ているものとして競技を行ってください。
（４）移動介助
・脱衣室の椅子まで歩行介助を行ってください。
（５）着衣介助
・着衣介助を行ってください。

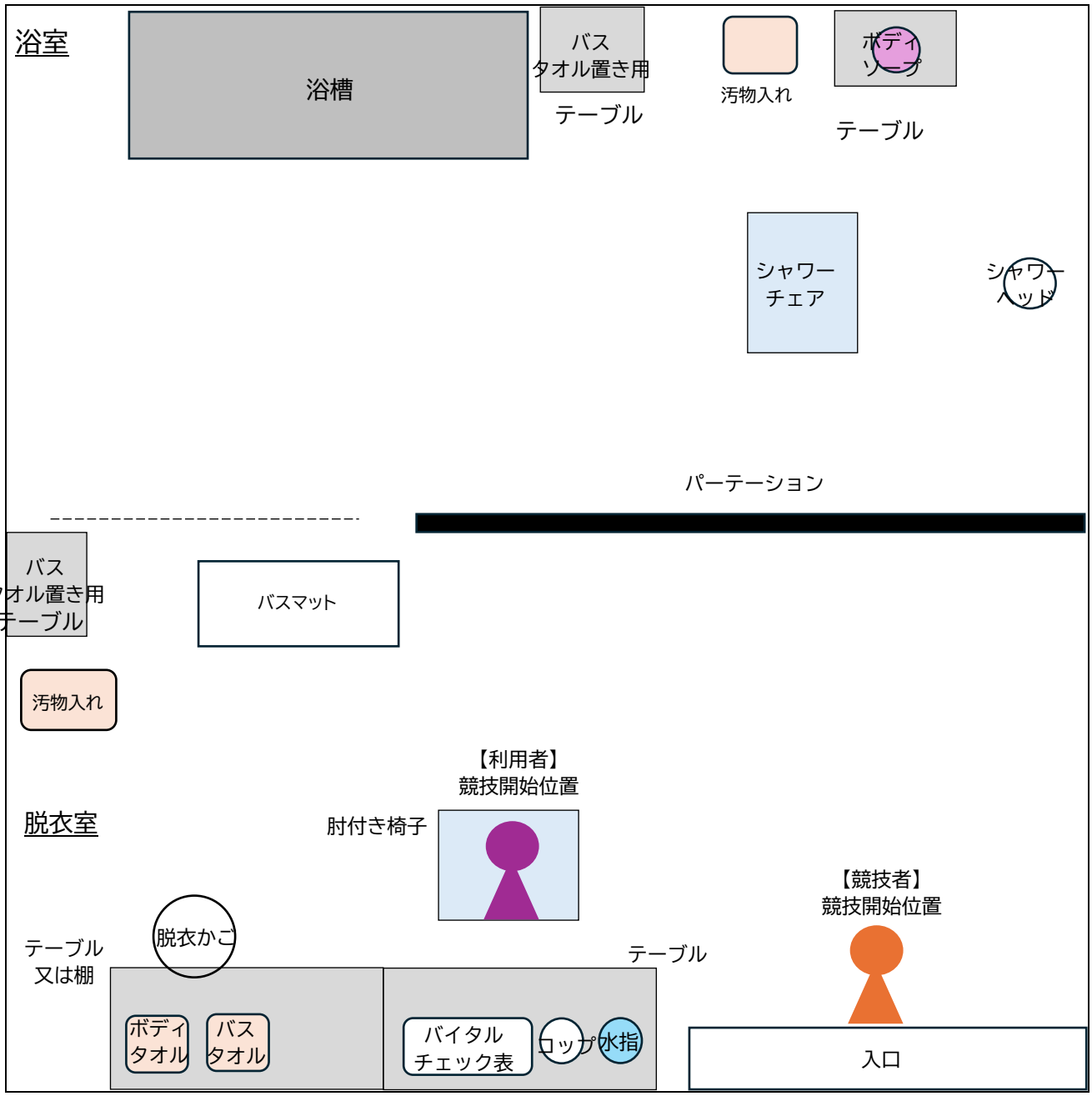
○　競技を終了した時点で手を挙げ、運営委員又は競技委員に伝えてください。

■競技時間

25 分以内に終えてください。

競技課題１：入浴介助

■レイアウト概要図



■物品要件・留意事項

物品要件	• バイタルチェック表は脱衣室のテーブルに置いてあります。 • バスタオル・ボディタオルは、脱衣室のテーブル上に置いてあります。 • タオル類も含め、準備してある物品（枚数）の中で競技を行ってください。 • 脱衣室・浴室の床は、清潔な状態であるとみなし競技を行ってください。
競技留意事項	• 利用者着用の肌着・レギンスは、肌とみなします。脱がさないでください。 • 洗身は疑似で行ってください。

競技課題２：食事介助

■課題設定

サービス種別	短期入所生活介護
利用者	高橋さん　88 歳　要介護２（詳細は別添のアセスメントシートを参照）
課題の背景	• 競技者は初めて高橋さんの食事介助を担当します。 • 高橋さんが当該施設のショートステイを利用するのは３回目です。 • 今回、御家族の都合で、ショートステイの利用となりました。 • 担当ケアマネジャーによると、食事はスプーンやフォークを使って自力摂取が可能であるが、途中で疲れて手が止まることがあり介助が必要。また、えん下機能の低下により、むせ込みがみられるとのこと。 • 高橋さんは、午前中、別の介護職員の付き添いにより外に散歩に出かけてきました。 • 食堂で昼食をとるため、玄関から食堂まで移動し、別の介護職員とともに食堂入り口で待っているところです。
課題概要	• 洗面台まで杖歩行介助を行い、洗面台で手洗いの介助を行ってください。手洗いを終えたらテーブルまで杖歩行介助を行ってください。その後、食事の準備を整え、利用者の食事介助を行ってください。食事終了後、口腔ケアのため洗面台の椅子まで移動し、座ってもらってください。

■競技内容

○　競技の準備ができた時点で手を挙げ、運営委員又は競技委員に伝えてください。

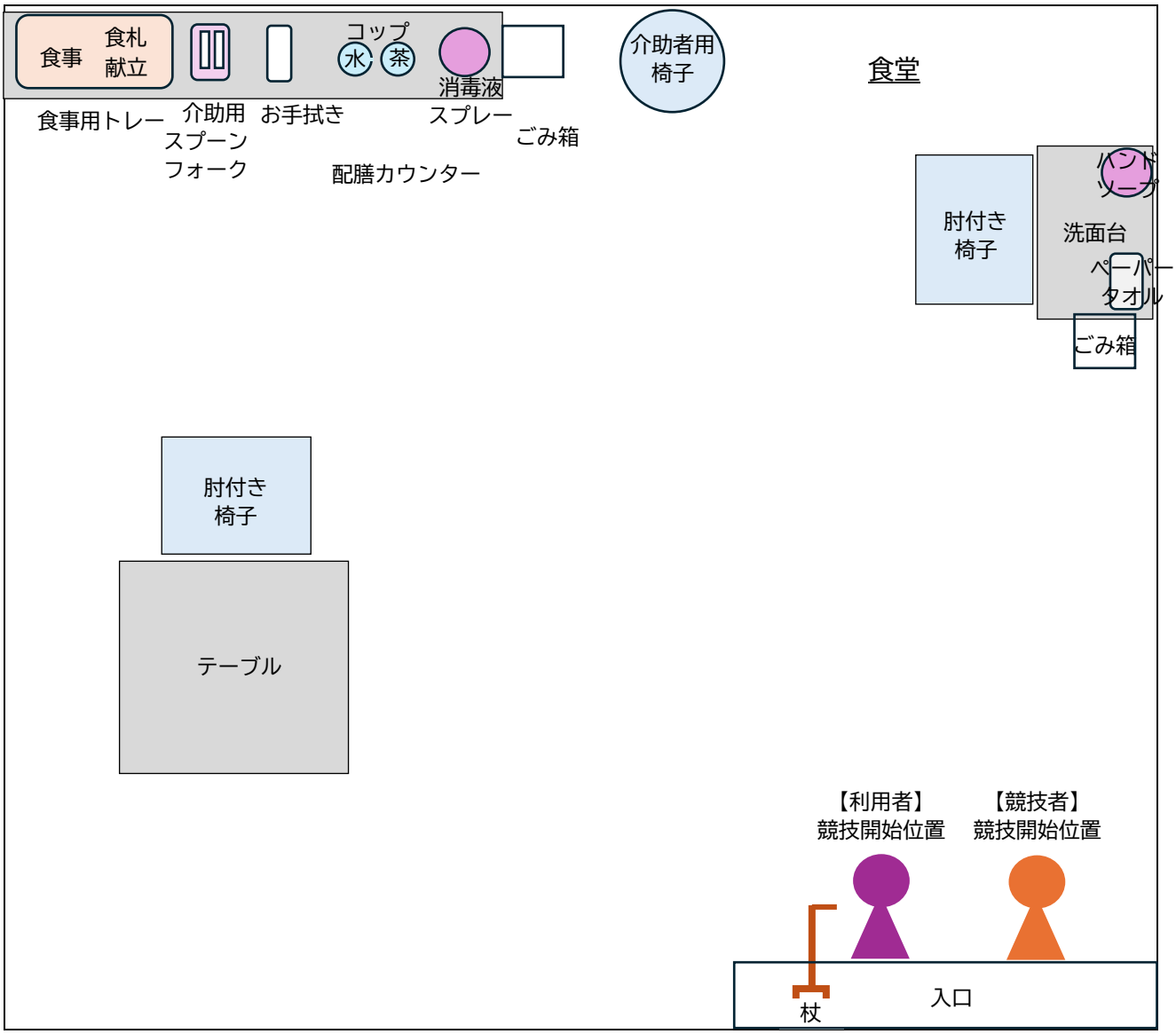
（１）移動介助（杖歩行介助）
・洗面台まで杖歩行介助を行ってください。
（２）手洗いの介助
・手洗いの介助を行ってください。 ※水は出ませんが、出ているものとして競技を行ってください。
（３）移動介助（杖歩行介助）
・テーブルまで杖歩行介助を行ってください。
（４）食事介助
・食事の準備を整え、食事介助を行ってください。
（５）移動介助（杖歩行介助）
・洗面台まで杖歩行介助を行ってください。

○　競技を終了した時点で手を挙げ、運営委員又は競技委員に伝えてください。

■競技時間

25 分以内に終えてください。

■レイアウト概要図



■物品要件・留意事項

物品要件	• 食事は調理済みで、配膳カウンターに利用者の分の食事が食事トレーに準備されています。 • 食事トレーに食札（名前、食形態の記載あり）と献立が置いてあります • 飲み物は、水とお茶が用意されています。
競技留意事項	• 手洗いは疑似で行ってください。 • 競技時間の都合上、途中で運営委員又は競技委員より食事終了の声がかかります。運営委員又は競技委員より終了の声がかかったら、食事は終了してください。食事終了の合図があったら、下膳はせずに、次の介助（移動介助：杖歩行介助）に移行してください。 • 洗面台まで移動しますが、口腔ケアは行いません。

競技課題３：排泄介助

■課題設定

サービス種別	短期入所生活介護
利用者	• 高橋さん　88 歳　要介護２（詳細は別添のアセスメントシートを参照）
課題の背景	• 競技者は初めて高橋さんの夜間対応を担当します。 • 高橋さんが当該施設のショートステイを利用するのは３回目です。 • 担当ケアマネジャーより、尿失禁がみられるためリハビリパンツを履いているとのこと。 • 夜 1：30 頃に高橋さんから「トイレに行きたい」とのナースコールがありました。
課題概要	• スライディングボードを使用して車いすへ移乗介助を行ってください。その後、車いすでトイレまで移動し、排泄介助を行ってください。排泄介助が終了したら、車いすで洗面台まで移動し、手洗いの介助を行ってください。

■競技内容

○　競技の準備ができた時点で手を挙げ、運営委員又は競技委員に伝えてください。

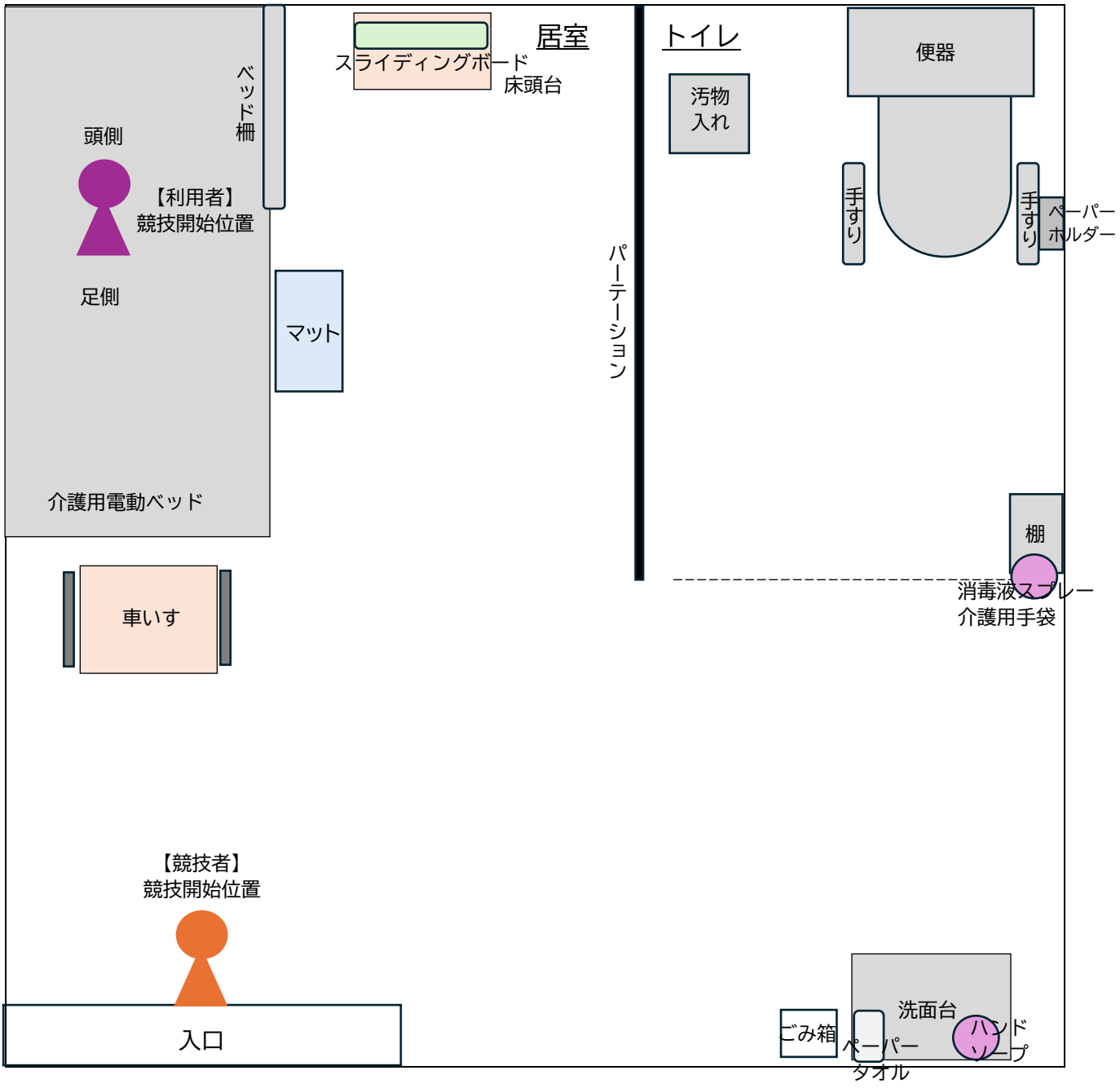
（１）移乗・移動介助（車いす移乗・移動）
・スライディングボードを使用して車いすに移乗し、トイレまで車いす移動を行ってください。
（２）排泄介助
・排泄介助を行ってください。
（３）移乗・移動介助（車いす移乗・移動）
・排泄介助が終わったら、洗面台まで車いす移動を行ってください。
（４）手洗いの介助
・手洗いの介助を行ってください。 ※水は出ませんが、出ているものとして競技を行ってください。

○　競技を終了した時点で手を挙げ、運営委員又は競技委員に伝えてください。

■競技時間

25 分以内に終えてください。

■レイアウト概要図



■物品要件・留意事項

物品要件	• スライディングボードは床頭台に置いてあります。 • トイレの棚に、消毒液スプレー、介護用手袋が置いてあります。 • トイレ・洗面台に水は流れませんが、流れるものとして競技を行ってください。 • 準備してある物品で競技を行ってください。
競技留意事項	• 利用者着用の肌着・レギンスは肌とみなします。脱がさないでください。 • 排泄物は異常が無かったものとして競技を行ってください。